

作成日：2002年9月20日

改定日：2006年11月1日

製品安全データシート

製造者：株式会社カトウケミカル
住所：三重県津市高茶屋小森上野町 1346 番地 4
担当部署：本社営業部
電話番号：059-234-3781
ファックス：059-234-1351
緊急連絡先：本社営業部 059-234-3781

製品名：苛性ソーダ液
Sodium hydroxide

<組成・成分情報>

化学式又は構造式：NaOH
成分名と含有量：無色透明の水溶液、純度：20%～50%
官報告示整理番号
化審法：(1)-410
CAS：No.1310-73-2
国連分類及び国連番号：1823（水酸化ナトリウム、固体）クラス 8 等級 II
1824（水酸化ナトリウム、水溶液）クラス 8

<危険有害性の要約>

分類の名称

1. 急性毒性物質
2. 腐食性物質

危険性 - 危険度を 0~4 の 5 段階で表示

火災：0(危険無)

人体：3(危険大)

反応：1(要注意)

1. 極めて有毒である

有害性

吸入した場合

1. 粉塵やミストを吸入すると気管、肺などに炎症をおこす。
2. 消火器粘膜または深部組織を侵され、死亡することもある。
3. 咳、息苦しさ

皮膚に触れた場合

1. 急激に急所を腐食し、腫れや発熱をおこす。
2. 低濃度溶液でも水分が蒸発することにより同様の症状を起こす。
3. 重度の皮膚熱傷。

眼に入った場合

1. 結膜や角膜が激しく侵され、視力低下や失明することがある。
2. 発赤、痛み、眼のかすみ、重度の熱傷。

飲み込んだ場合

1. 口や喉及び胃の灼熱感、嘔吐、下痢、虚脱。

<応急処置>

眼に入った場合

1. 大量の水で十分洗い流す。
2. 医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

-
1. 汚染された衣服や靴を脱がせ、付着または接触を清水で十分に洗い流す。
 2. 医師の診断を受ける。
 3. 応急処置を行うときは保護手袋を着用

吸入した場合

1. 新鮮な場所に移し衣服をゆるめ、毛布等にくるみ保温する。半座位。
2. 必要な場合は人工呼吸。
3. 医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

1. 口をすすぐ。多量の水を飲ませる。吐かない。
2. 医療機関に連絡

< 火災時の措置 >

消火方法

消火設備

1. 周辺火災の場合の処置は次による。
2. 容器を安全な場所へ移動する。
3. 移動不可能な場合は、容器を破損しないように注水し冷却する。
4. 周辺火災の消火に努める
5. 湿気や水分と接触すると可燃物質を発火させるに十分な熱を発生することがある。
6. 火災時：ドラム缶などに水を噴霧して冷却するが、水が直接かからないようにする。

消防活動装備

1. 防護衣
2. 空気呼吸器
3. 循環式酸素呼吸器
4. ゴム長靴

消火剤

1. 周辺の火災時：粉末、二酸化炭素のみ使用可

< 漏洩時の措置 >

1. 防水シート等で表面を被膜して飛散防止用の堤防を図り回収する。
2. 酸(希塩酸、希硫酸等)で中和し大量の水で十分希釈し洗い流す。
3. こぼれた物質をスチール製容器内に掃きいれ、残留分を希酸(酢酸が望ましい)で注意深く中和し、多量の水で洗い流す。(特別個人用保護具：自給式呼吸器を含む完全保護衣)

< 取扱及び保管上の注意 >

取扱

1. 腐食性
2. 有毒
3. 皮膚を刺激する。
4. 眼を刺激する。
5. 眼、皮膚、衣服との接触を避ける。
6. あらゆる接触を避ける。
7. 粉塵または蒸気の吸入を避ける。
8. 長時間または反復の暴露を避ける。
9. 取扱後完全に洗浄。
10. 作業中は飲食、禁煙をしない。

保管

1. 極めて強い吸湿性
2. 空気に敏感
3. 密封。冷乾燥場所に保管
4. 強酸、金属、発火しやすい物質から離しておく

< 暴露防止及び保護措置 >

安全管理上の留意事項

1. 一時に多量に溶かすと溶解熱のため沸騰し液が飛散することがある。
2. 濃厚な廃液を河川等に排出しない。
3. 薬傷は酸よりアルカリの方が影響が強い。

許容濃度

ACGIH(98年)

2mg/m³(上限値)
日本産業衛生学会勧告書(98年)
2mg/m³(上限値)

設備対策

貯蔵対策

1. 極めて強い吸湿性
2. 空気に敏感
3. 密封。冷乾燥場所に保管
4. 強酸、金属、発火しやすい物質から離しておく

保護具

1. 局所排気または呼吸用保護具
2. 保護手袋
3. 保護衣
4. 安全シャワー
5. 安全ゴーグル
6. 顔面シールド
7. 洗眼器

< 物理的及び化学的性質 >

外観等

水溶液は強アルカリ性

沸点

138 (48%溶液)

比重又は高比重

約 1.50(48%溶液)、約 1.23 (20%溶液)

溶解度

水に溶解する場合、多量の熱を発生する。メチルアルコール、エチルアルコール、グリセリンに溶解する。水への溶解度：109g/100ml (20)

< 安定性及び反応性 >

加熱・燃焼性：危険性有

水との接触：危険性有

1. 水溶液は強アルカリ性を呈する。

空気との接触：危険性有

1. 空気中の湿気により発熱し、可燃物を発火させることがある。

混触等：危険性有

1. りん化合物と反応し、有毒・可燃性ガス(燐化水素)を発生する。
2. アルミニウム、錫、亜鉛などとの金属を腐食し、可燃性ガス(水素)を発生する。
3. ある種のプラスチック、ゴム、被膜剤を侵す。湿気や水分と接触すると発熱することがある。

< 有害性情報 >

皮膚に触れた場合

1. 急激に局所を腐食し、腫れや発熱をおこす。
2. 低濃度溶液でも水分が蒸発することにより同様の症状をおこす。
3. 重度の皮膚熱傷

眼に入った場合

1. 結膜や角膜が激しく侵され、視力低下や失明することがある。
2. 発赤、痛み、眼のかすみ、重度の熱傷

吸入した場合

1. 粉塵やミストを吸入すると気管、肺などに炎症をおこす。
2. 消火器粘膜または深部組織を侵され、死亡することもある。
3. 咳、息苦しさ。

飲み込んだ場合

1. 口や喉及び胃の灼熱感、嘔吐、下痢、虚脱

刺激性

ラビット 500mg/24H;SEVERE

ラビット 400 µg;MILD(眼)

ラビット 50 µg/24H ; SEVERE (眼)
ラビット 1mg/24H ; SEVERE (眼)
ラビット 1mg/30S rinse ; SEVERE (眼)
変異原性
染色体異常 : ハムスター(生体外) ; 陽性

< 環境影響事項 >

記載事項なし

< 廃棄上の注意 >

少量の場合 : 大量の水を攪拌し、注意しながら添加。pH を中性に調整し、不溶性固体または液体を分離し、危険物廃棄用として包装。水溶液は大量の水と一緒に排出する。加水分解と中和反応のため発熱し、霧を発生するが、添加速度を加減すれば発熱および霧発生を制御できる。毒物劇物の廃棄の方法に関する基準の制定について(厚生省・通知)参照

< 輸送上の注意 >

国連番号 : 1823(水酸化ナトリウム、固体) クラス 8 等級 II
IMDG : (P.8225) クラス 8 等級 II
ICAO/IATA : クラス 8 等級 II PAT814 (15kg) Y814 (5kg) CAO816 (50kg)
国連番号 : 1824 (水酸化ナトリウム、水溶液) クラス 8
IMDG : (P.8226) クラス 8 等級 II、III
ICAO/IATA : クラス 8 等級 II PAT809 (1l) Y809 (0.5l) CAO813 (30l) 等級 III
PAT819(5l) Y819(1l) CAO821(60l)

< 適用法令 >

毒物及び劇物取締法 : 第 2 条別表第 2 劇物 (水酸化ナトリウム及びこれを含有する製剤。ただし 5%以下を含有するものは除く)
労働安全衛生法 : 水酸化ナトリウム No.318 20 ~ 50%
PRTR 法 : 該当物質なし
労働安全衛生規則 : 第 326 条腐食性液体
海洋汚染防止法 : 施行令別表第 1 有害液体物質 (D 類)(溶液)
船舶安全法 危規則 : 第 3 条危険物告示別表第 3 腐食性物質 R-上・下/上・下 等級 2
航空法 : 施行規則第 194 条危険物告示別表第 11 腐食性物質 Q-等級 2
港則法 : 施行規則第 12 条危険物告示腐食性物質 (等級 3 のものを除く)
危規則 : 第 3 条危険物告示別表第 3 腐食性物質 R-上・下/上・下 等級 2、3
航空法 : 施行規則第 194 条危険物告示別表第 11 腐食性物質 Q-等級 2、3

< 記載内容の取扱 >

記載内容の取扱は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険、有害性に関しては、いかなる保障をなすものではありません。また、注意事項は通常取扱を対象としたものなので、特殊な取扱の場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
